

# 西藤島小だより



☆学校教育目標『自主と創意に満ちた人間性豊かな児童の育成』

☆目指す児童像「学ぶ子」「やさしい子」「強い子」

福井市三郎丸1丁目1410 TEL (0776) 22-8820 FAX (0776) 22-6809

<http://www.fukui-city.ed.jp/ni-fuji-e/> E-mail: [ni-fu-e@fukui-city.ed.jp](mailto:ni-fu-e@fukui-city.ed.jp)

平成29年4月22日発行

No.1

福井市西藤島小学校

## 29年度のスタート！～始業式～



いよいよ平成29年度がスタートしました。4月6日の始業式では、新年度に向けての期待感と少しの不安感を持った子ども達の顔がありました。新しい先生になったクラス、クラス替えのあった学年、新しい転校生がやってきたクラス、それぞれの学年やクラスで、「新しい」という言葉が付き、子ども達も気持ちを新たにしたことと思います。

恒例の担任発表をしたときのことで、1-1の担任の名前から紹介をしたとき、子ども達の間から自然と拍手がわき上がりました。続けて1-2、2-1・・・と発表したのですが、全ての先生に、子ども達は拍手で応えてくれました。私は、紹介をしながら、何か体育館全体に温かい一体感のようなものが生まれるのを感じました。私も、そして教職員一同も、子ども達の拍手から「今年1年、やるぞ！」という気持ちにさせてくれました。そんな子ども達に心から感謝です。



## どうぞ、よろしく！～新1年生～



今年度も39名の新1年生が入学してきました。制服、帽子、ズック、体操服・・・どれも真新しく、そして、少し大きめで、見ていて微笑ましいです。身につけているものだけでなく、きっと心も真っ白なんだろうなあとと思います。この真っ白な心の中に、これから生きていく上で必要なあらゆる事を、家庭や地域の方々と連携して育てていきたいと思っています。とても大切に、とてもやりがいのある事なのだ、1年生を見ていてあらためて思います。保護者の皆様、西藤島地区の皆様、どうぞよろしくお願いたします。

1組



2組



## ～今年度の教職員の紹介～

### 【新任の先生から一言】

- 勝見 義治（かつみ よしはる）先生（和田小より）  
西藤島小の子ども達のパワーと先生方の若々しさに、私も若がえっていきような気がします。（気がするだけです・・・）元気と笑顔ではりきっていきます。よろしくお願ひします。
- 増田 敏絵（ますだ としえ）先生（福井大附属小より）  
活発で、元気いっぱい西藤島小学校の子どもたちと共に過ごせることを大変嬉しく思っています。みんなで学ぶ楽しさを感じ、みんな笑顔になるよう精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願ひします。
- 山田 康喬（やまだ やすたか）先生（新採用）  
伝統ある西藤島小学校で元気いっぱい子どもたちと共に過ごせることを嬉しく思っております。子どもたちと一緒に自分も学んでいけるようにします。よろしくお願ひします。
- 下島 瑞穂（したじま みずほ）先生（新採用）  
新採用ということで、1年生のようにドキドキワクワクしながら西藤島小学校にやって来ました。子どもたちと共に笑顔で楽しい学校生活を送りながら、色々なことを学びたいです。よろしくお願ひします。
- 八杉 裕美（やすぎ ひろみ）先生（初任者担当）  
明るく素直な西藤島小学校の子どもたちと過ごせることが、とても嬉しいです。子どもたちの笑顔が少しでも増えるように、言葉かけをしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

校長		渡 辺 大 輔
教 頭		田 代 光 一
教務主任		飛 山 艶 子
1年1組	担 任	谷 真 希
2組	〃	関 有 加
2年1組	〃	西 片 善 江
2組	〃	峯 田 智 也
3年1組	〃	小 形 かおり
2組	〃	増 田 敏 絵
4年1組	〃	勝 見 義 治
2組	〃	山 田 康 喬
5年1組	〃	山 本 賢
2組	〃	飛 山 芳 輝
6年1組	〃	谷 宏 介
2組	〃	道 下 千 明
なないろ	〃	前 田 正 美
あおぞら	〃	下 島 瑞 穂
養護教諭		藤 田 美 保
事務職員		岩 堀 智代美
初任者担当		八 杉 裕 美
いきいき		黒 岩 恭 子
サポーター		
施設技師		梅 田 正 治
図書支援員		酒 井 忍
小学校 SC		市 橋 直 子



## フリートークコーナー ～4月の集団登校～



小学校期の一年間は、成人期に比べて、心身ともに目に見えて成長していきます。それが、色々な場面で見られます。われわれの仕事のやりがいもまた、そんなところにあります。

例えば、集団登校班。4月当初は新1年生も加えての登校なので、歩く速度がとても遅いのです。でもそれが、1ヶ月経ち、半年が経つ頃には、1年生も歩く速度が速くなり、1年経つと、ほぼ普通速度となります。この登校班の速度1つ見ても、1年間の成長を感じます。

私は、この集団登校に関していえば、4月が一番好きです。それは、「思いやり」がたくさん見えるからです。特に西藤島地区は広いので、50分くらいかけて登校する班もあります。その途中で、1年生はちょっとした段差でも転びます。何回も転びながら登校をしてくる子もいます。でも、1年生が転んだとき、後ろの上級生の子たちが「大丈夫か？」と駆け寄ってきて、服についた砂をはらってくれる姿。先頭を歩く高学年の班長が、ときどき後ろを振り返りながら、遅れている1年生を気づかっている姿。小さい1年生の手を、高学年がつないで登校する姿。どの姿にも「思いやり」が感じられます。

4月の集団登校には、「安心・安全」とともに、子どもたち同士の「思いやり」がつまっていることに、あらためて気づかされます。これも貴重な教育の場だと感じました。

